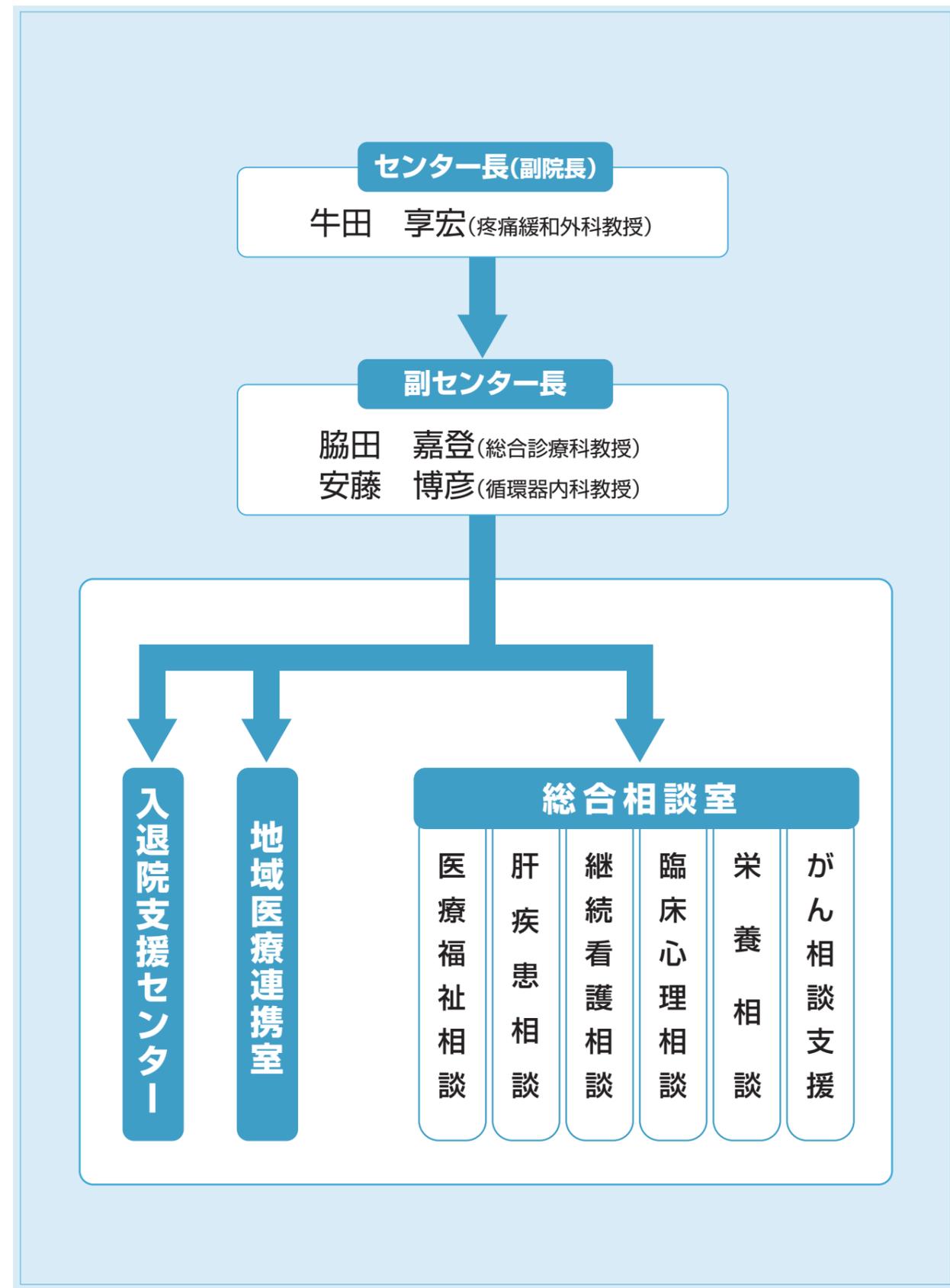


医療連携センター組織図

医療連携センター



入退院支援センター



WEBサイト

場所 | 中央棟1階 17入退院支援センター



WEBサイト

地域医療連携室



WEBサイト

場所 | 中央棟1階 17入退院支援センター



WEBサイト

概要

地域医療連携室は各医療機関の先生方との医療連携の窓口です。
紹介患者さんの予約や医療連携に関するご意見ご要望は「地域医療連携室」へお願いいたします。
当院は、地域での特定機能病院としての役割を果たすために、医療連携の強化・推進に努力していきますので、よろしくお願いいたします。

主な業務内容

1. 事前紹介予約受付（診療・検査）
2. 紹介患者の情報管理（紹介・逆紹介）
3. 経過報告書の情報管理（FAX・郵送）
4. 登録医の情報管理
 - ・登録医専用ページの管理
 - ・AMUネット（カルテ閲覧システム）の運用・管理
5. 愛知医科大学病院地域医療連携研修会・勉強会の企画・運営
6. 広報活動（地域医療機関への情報提供）
 - ・地域医療連携ガイドブックの作成
 - ・外来担当医表、交通案内の作成
7. 連絡調整
 - ・地域医療機関や院内各部署との連絡調整

業務時間

平 日：8：30～19：00
土 曜：9：00～12：00
休 日：日曜、祝休日、年末年始（12/29～1/3）

スタッフ紹介

【地域医療連携室】

課長 諏訪雄二郎
主査 佃 朋和
主任 小野 信行 西 みのり 加藤 香里
課員 濱中 美穂 上村 遥奈 新田 智子
平井 夕季 村瀬 宏美
パート 大野 弘子 與語 孝子 武田 佳枝
辻井 智子 櫻井 芽衣

【医療連携センター】

主任 増田 阿耶
深谷 綾子

連絡先

電話 (0561) 65-0221 (直通)
FAX (0561) 65-0225
E-mail renkei@aichi-med-u.ac.jp

概要

平成29年度より、入退院に関わる患者さんの薬物管理・指導を行う薬剤師（専従）が配置されました。
予約入院患者さん（一部対象外の診療科あり）が安心して入院できるための支援をはじめ、入院している全患者さんが、適切に医療を受けた後、安心・安全に退院、在宅療養できるように支援しています。入退院支援センターは、入院から退院までの支援を行います。医療福祉相談の社会福祉士と連携をとり、院内の全病棟及び救急部門へ入退院支援相談員を配置し、入院前から退院支援の介入を行い、早期に社会復帰できるよう支援しています。また、医療連携センターの一員として多部署、多職種と協働して活動しています。

主な業務内容

1. ベッドコントロール
予約入院、緊急入院のベッドコントロールと病院全体の病床状況の把握
2. ケースマネジメント
予約入院患者と面接を行い病歴などの情報を収集し、身体的、社会的、精神的リスクがあれば関連部署へ連絡し情報提供を行う
3. 入院オリエンテーションと電話相談
入院説明と注意事項（中止薬・絶食）の確認・説明
4. 入院の部屋希望の確認と調整
5. 入退院支援・退院調整（在宅療養調整）
6. 人間ドック関連業務
7. 肝臓病教室の開催
8. がん相談支援員としての相談業務

スタッフ紹介

副部長 小林 美和
師長 看護師 柴 智香子
主任 看護師 永富奈々美 看護師 蔵本 令子 がん性疼痛看護認定看護師 鈴木 千春
がん化学療法看護認定看護師 櫻井 美保
訪問看護認定看護師 小澤いずみ 新生児集中ケア認定看護師 日比野知絵
看護師 池田 葉子 看護師 鷲見 恵 看護師 増田 恵子 看護師 猿渡 美広
看護師 服部 貴子 看護師 分造 亜希 看護師 松下 麻衣 看護師 玉木 香織
看護師 青山紗裕美 看護師 鈴木 文菜 看護師 服部 彩華 看護師 福島 沙織
看護師 坂口 美喜 看護師 今塩屋聡子 看護師 谷口佑実子 看護師 河村 京子
看護師 岡本 明里 看護師 杉浦 涼 看護師 吉澤栄季乃 看護師 林 成香
薬剤師 市橋 加奈 薬剤師 村田 義明 薬剤師 笹川 文

その他

相談時間 月曜日～金曜日 9：00～12：00 13：00～17：00
連絡先 入退院支援センター事務室（内線：34630）
電話 0561-78-6241（直通）

総合相談室

肝疾患相談

場所 | 中央棟1階 14総合相談室



WEBサイト

概要

愛知医科大学病院は、平成22年4月1日より肝疾患診療連携拠点病院の指定を受けました。肝疾患相談では、B型、C型肝炎をはじめ脂肪肝や自己免疫性肝炎などの慢性肝炎や肝硬変、肝がんなど、肝疾患の患者さんやご家族が安心して療養ができるように肝疾患に関するご相談をお受けします。

主な業務内容

1. B型、C型肝炎をはじめ脂肪肝や自己免疫性肝炎などの慢性肝炎や肝硬変、肝がんなどの一般的な医療情報の提供（どんな病気か？検査方法や治療方法は？など）
2. 肝がんに関するセカンドオピニオンを希望する方への受診案内
3. 肝炎治療の公費助成の手続き方法に関する相談
4. 肝硬変の特定疾患医療給付事業や肝臓機能障害の身体障害者手帳の申請に関する相談
5. 地域の肝疾患専門医療機関の紹介などについてのご相談をお受けします。

相談内容の特長

院外からの電話相談等で治療等に関する専門医療相談については、肝胆膵内科の専門医に相談し助言や指示を受けて相談にお応えしております。

相談申し込み方法

主治医等からの相談依頼また、直接ご来院いただいても結構です。
※ご相談内容については秘密を厳守します。

スタッフ紹介

伊藤 清顕 医師（肝胆膵内科部長）

対馬 清美	医療ソーシャルワーカー（技師長・社会福祉士・精神保健福祉士）
小堤 歩	医療ソーシャルワーカー（主任・認定社会福祉士（医療分野）・精神保健福祉士）
松村 香織	医療ソーシャルワーカー（主任・社会福祉士）
青木 美典	医療ソーシャルワーカー（主任・社会福祉士・精神保健福祉士）
森下 祐一	医療ソーシャルワーカー（主任・社会福祉士）
林 純子	医療ソーシャルワーカー（社会福祉士・精神保健福祉士）
浅野 友実	医療ソーシャルワーカー（社会福祉士）
浅埜 達子	医療ソーシャルワーカー（社会福祉士）
村居 巖	医療ソーシャルワーカー（精神保健福祉士）
加藤 結菜	医療ソーシャルワーカー（社会福祉士）
若原 直樹	医療ソーシャルワーカー（社会福祉士）
杉野 茉優	医療ソーシャルワーカー（社会福祉士・精神保健福祉士）

その他

相談時間 月曜日～金曜日 9:00～12:00 13:00～17:00
連絡先 肝疾患相談（医療福祉相談） 電話（0561）61-1878

総合相談室

医療福祉相談

場所 | 中央棟1階 14総合相談室



WEBサイト

概要

医療福祉相談では、12名の医療ソーシャルワーカー（有資格者内訳 社会福祉士：11名、精神保健福祉士：6名）が常勤で配置されております。

主な業務内容

患者さんやご家族の医療費や生活費等の経済的な問題を初めとして、療養生活（転院や施設入所等）、社会復帰、福祉制度等、生活全般にわたる様々な問題のご相談に対して、不安や問題を整理し、問題解決にあたりその方法を一緒に考えさせていただきます。
業務は、厚生労働省の医療ソーシャルワーカー業務指針に沿って相談援助を行っています。

- | | |
|--------------------|-------------|
| (1) 療養中の心理・社会的問題解決 | (2) 退院援助 |
| (3) 社会復帰援助 | (4) 受診・受療援助 |
| (5) 経済的問題の解決・調整援助 | (6) 地域活動 |

相談内容の特長

- ・当院は、特定機能病院ということもあり、医療費が高額になることも多く、医療費等の経済的問題のご相談がかなり多くあります。
- ・急性期治療を終えた患者さんの退院援助として、転院先等のご相談も多く転院先の検討や転院先との連携窓口（後方連携）にもなっています。
- ・愛知県難病医療ネットワーク推進事業の拠点病院となっている関係から難病患者さんの療養等のご相談も院内外からお受けしております。

相談申し込み方法

主治医等からの相談依頼また、直接ご来室いただいても結構です。
※ご相談内容については秘密を厳守します。

スタッフ紹介

対馬 清美	医療ソーシャルワーカー（技師長・社会福祉士・精神保健福祉士）
小堤 歩	医療ソーシャルワーカー（主任・認定社会福祉士（医療分野）・精神保健福祉士）
松村 香織	医療ソーシャルワーカー（主任・社会福祉士）
青木 美典	医療ソーシャルワーカー（主任・社会福祉士・精神保健福祉士）
森下 祐一	医療ソーシャルワーカー（主任・社会福祉士）
林 純子	医療ソーシャルワーカー（社会福祉士・精神保健福祉士）
浅野 友実	医療ソーシャルワーカー（社会福祉士）
浅埜 達子	医療ソーシャルワーカー（社会福祉士）
村居 巖	医療ソーシャルワーカー（精神保健福祉士）
加藤 結菜	医療ソーシャルワーカー（社会福祉士）
若原 直樹	医療ソーシャルワーカー（社会福祉士）
杉野 茉優	医療ソーシャルワーカー（社会福祉士・精神保健福祉士）

その他

相談時間 月曜日～金曜日 9:00～12:00 13:00～17:00
連絡先 医療福祉相談 電話（0561）61-1878

総合相談室

継続看護相談

場所 | 中央棟1階 14総合相談室



WEBサイト

概要

継続看護相談では、医療・看護依存の高い患者さんが、退院後も安心・安全に療養生活が継続できるように、在宅医療・介護などの様々なご相談に対して、問題解決に向けて一緒に考えながら支援しています。

主な業務内容

1. 在宅医療・介護を必要とする患者さんへの相談業務
 - ・終末期を自宅で過ごしたい方への支援
 - ・自立した日常生活の支援
2. 在宅医療・看護全般についての相談業務
(例：在宅酸素、在宅中心静脈栄養法、胃瘻管理、ストーマ管理、褥瘡処置、吸引など)
3. 医療機器・福祉用具などのレンタル及び購入の相談・支援

相談申し込み方法

※ご相談のある方は、直接来室されるか、又はお電話でご予約をお願いします。
お急ぎの場合は、その旨をお伝えください。

その他

相談時間 月曜日～金曜日 8:30～12:00 13:00～17:00
連絡先 継続看護相談 (内線:34641、34642)
電話 0561-78-6241 (直通)

総合相談室

臨床心理相談

場所 | C棟3階 こころのケアセンター



WEBサイト

概要

臨床心理相談は、心の専門家である臨床心理士によって構成されています。特定機能病院の地域医療連携業務の一環として、主に心の問題に関する援助の役割を担っています。心理的問題に対して、専門的な支援を提供します。

主な業務内容

- 主治医の依頼に基づいて行います。
- ①臨床心理査定 心理検査や心理的問題に関する査定を行います。
 - ②臨床心理相談 心理的問題の相談や必要に応じて心理療法を受けられる場所を紹介します。
 - ③臨床心理的地域援助 心の健康に関わる部分での地域との連携や環境調整などを行います。

相談申し込み方法

医師の依頼に基づき、心理検査や心理相談を行っておりますので、当院主治医にお申し出下さい(予約制)。また、地域医療連携の一環として、地域の先生方からの紹介による心理検査も行ってまいります。その場合は、地域医療連携室を通じてご予約下さい。
(8頁「検査等の予約方法について」参照)

スタッフ紹介

酒井 玲子 (臨床心理士 公認心理師 副技師長) (兼務)
大島 良江 (臨床心理士 公認心理師 主任) (兼務)
佐藤 友里 (臨床心理士 公認心理師) (兼務)
森岡 侑子 (臨床心理士 公認心理師) (兼務)
夏目 楓 (臨床心理士 公認心理師) (兼務)
松浦 渉 (臨床心理士 公認心理師) (兼務)

その他

相談時間 月曜日～金曜日 9:00～17:00
連絡先 こころのケアセンター (内線:25514)

総合相談室 がん相談支援



WEBサイト

場所 | 中央棟1階 14総合相談室（がん相談支援センター）



WEBサイト

場所 | 中央棟2階・4階 栄養相談室

総合相談室 栄養相談

概要

がん相談支援では、その人らしい生活や治療選択ができるように、がんに関する一般的情報の提供、療養生活等における心理・社会的問題に対し、専門相談員がご相談をお受けしています。

主な業務内容

- ①がんの病態、標準的治療法等がん診療およびがんの予防・早期発見等に関する一般的な情報提供。
- ②セカンドオピニオンの提示が可能な医師の紹介。
- ③がん患者の療養上の相談。
- ④地域の医療機関及び医療従事者等におけるがん医療の連携協力体制の事例に関する情報の収集、提供。
- ⑤アスベストによる肺がん及び中皮腫に関する医療相談。
- ⑥がん患者、家族の慰安企画・運営。
- ⑦学業と治療の両立支援（就学支援）。
- ⑧仕事と治療の両立支援（就労支援）。
- ⑨妊よう性に関する相談。
- ⑩その他相談支援に関すること。

相談申し込み方法

ご相談のある方は直接がん相談支援センターにお越しください。
お電話での相談もお受けいたします。
相談は無料です。

スタッフ紹介

佐藤 陽子（専任相談員 看護師）
櫻井 美保（専任相談員 看護師）
鈴木 千春（専任相談員 看護師）
森下 祐一（専任相談員 医療ソーシャルワーカー）

その他

相談時間 月曜日～金曜日 9：00～17：00
連絡先 がん相談支援センター 電話 (0561) 62-3311 (代)

概要

栄養相談では、糖尿病、脂質異常症、高血圧症、肥満などの生活習慣病や腎臓病、肝臓病、膵臓病、胃腸疾患、がん、摂食・嚥下機能低下、低栄養等、疾患全般に関する食事療法の指導・相談を管理栄養士が行っています。また、定期的に糖尿病教室を開催しています。

相談申し込み方法

医師の指示に基づき指導・相談を行っています。当院医師にお申し出ください。（予約制）
また、地域医療連携の一環として、地域の先生方からの紹介による、糖尿病の栄養指導・相談も行っています。地域医療連携室を通じ、ご予約ください。

スタッフ紹介

田中 竜二 管理栄養士（技師長）
戸田 景子 管理栄養士（副技師長）
太田 梨江 管理栄養士（主任）
竹内 知子 管理栄養士（主任）
原田 英典 管理栄養士
前田 美咲 管理栄養士
水野 愛 管理栄養士
原 なおり 管理栄養士
石田優利亜 管理栄養士
高橋 美絵 管理栄養士
土田 実佳 管理栄養士
山本 菜月 管理栄養士
鬼頭 美月 管理栄養士
櫛田 結友 管理栄養士
福田 春花 管理栄養士
南谷 美希 管理栄養士
佐原日菜野 管理栄養士
稲垣ゆり子 管理栄養士
河原崎真有 管理栄養士
能登 郁実 管理栄養士

その他

相談時間 月曜日～金曜日 9：00～16：00
連絡先 栄養部事務室（内線：32023、32026）

認知症疾患医療センター事業

Dementia-Related Disease Medical Center Project



診療科WEB

センターの特色

当院は2013年9月より、愛知県地域型の認知症疾患医療センターとして、精神神経科、神経内科で協議しながら幅広く認知症治療を行っています。最近ではようやく新型コロナウイルス（COVID-19）感染も収束の兆しを見させてきましたが、高齢者の社会参加が激減し、認知機能や日常生活動作について悪影響があったことが示唆されています。本邦では高齢化が進んでいることから、近親者の死別体験や社会的孤立を経験することが少なくありません。当院は「地域連携」の一端を担っている地域型認知症疾患医療センターですが、稼働から10年が経過し、患者様がより早期に受診されるようになり、超高齢の患者様も珍しくなくなりました。今後もかかりつけ医や介護機関とも連携を図りながら、認知症患者さんやその家族が住み慣れた地域で安心して生活ができるように医療面・介護面から介入・支援も行っていきます（図1,2,3）。

図1 周辺医療機関（緑色；認知症疾患医療センター）



図2 長久手モデル事業共生カフェ案内



診療内容

まずは生活状況や持病、内服薬の確認を予診で迅速に確認し、ビタミンや甲状腺ホルモン、感染症なども含めた血液検査、神経心理検査、脳画像検査を計画的に行い、認知症の鑑別診断を行います。大学病院は認知症と鑑別が困難な症例が多く、いわゆるtreatable dementia（治療可能な認知症；ビタミン欠乏症、代謝性異常、せん妄、てんかん、慢性硬膜下血腫、脳腫瘍、脳炎脳症などがあります）を見落とさないように一定期間観察を行います（図4）。診断が確定した後は、認知症療養計画書を作成し、基本的にはかかりつけ医で治療継続をお願いさせていただきますが、認知症の行動・心理症状（BPSD）などにより、当センターにて引き続き継続治療を行う場合もあります。

アルツハイマー病疾患修飾薬レカネマブについて

近年新たに登場したレカネマブはアルツハイマー病の病理の一つであるアミロイドβ（Aβ）のうち、毒性が示唆されているAβプロトフィブリル及びアミロイドβプラークを減少させると考えられ、アルツハイマー病による軽度認知障害及び軽度認知症の進行抑制が期待されています。使用前にアミロイドβが脳内に蓄積していることをアミロイドペットや髄液検査で確認する必要があります。MRIで5個以上の脳微小出血や脳表ヘモジデリン沈着又は、1cmを超える脳出血のある方には投与できません。また重要な副作用としてInfusion reaction（輸注反応；悪心、悪寒、頭痛など）

やアミロイド関連画像異常（ARIA；浮腫/浸出液貯留/微小出血など）があります。適応や副作用に関しては担当医から十分な説明を受けて下さい。レケンビ総合製品情報概要/レケンビ総合製品情報概要/全例調査実地の手引きより引用

治療実績（令和5年度）

初期診断 78件
鑑別診断 88件（うち診断時65歳未満 6件）

当院で行う検査について

MRI、CT、脳血流SPECT、MIBG心筋シンチグラフィ、ドパミントランスポーターシンチグラフィ、アミロイドペット、脳波、神経心理検査など

紹介のポイント

かかりつけ医を通して、認知症疾患医療センターにご連絡下さい。ご家族の同伴やお薬手帳の持参をお願いの上、事前予約をさせていただきます。

スタッフ紹介

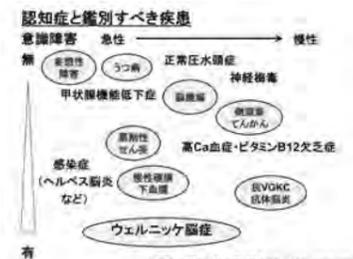
令和6年7月1日現在

担当医	職名	専門分野
ドウユウ 道勇	マナブ 病院長	神経内科学
ミヤタ 宮田	ジュン 精神科学講座教授	精神科学 妄想・統合失調症
イミ 泉	マサユキ 看護学部教授	神経内科学 認知症 脳卒中
フカツ 深津	タカヒデ 精神科学講座講師	老年精神医学・認知症
オチアイ 落合	ナオミ 精神神経科非常勤医師	老年精神医学・認知症
ツシマ 對馬	キヨミ 医療福祉相談室技師長	
コツツミ 小堤	アユム 医療福祉相談室主任	
アサノ 浅埜	タツコ 医療福祉相談室社会福祉士	

図3 瀬戸市認知症初期集中支援チーム案内



図4 深津 孝英ほか. 臨床精神医学 46(11); 1335-1343: 2017



関連施設

総合学術情報センター（図書館部門）



WEBサイト

場所 | 大学本館（1号館） 5階・6階（入退館は5階）

利用について

- ・来館時は、必ず「登録医カード」をお持ちください。
- ・初めてご利用になる際は、図書館受付カウンターで手続きをしてください。
- ・日曜日及び祝日開館日に来館される場合は、病院正面玄関夜間出入口にある防災センター窓口に図書館を利用する旨をお申し出いただき、係員の指示に従ってください。

複写（有料）

館内の資料を、著作権法の範囲内で複写することができます。図書館受付カウンターでプリペイドカードをご購入ください。50度：550円（税込）

相互貸借（有料）

本学が所蔵していない資料を他大学等から取り寄せることができます。来館又はマイライブラリでお申し込みください。文献到着までに1週間程度を要します。文献が届き次第お知らせしますので、図書館受付カウンターでお受け取り下さい。

他大学等から図書を借用することも可能です。ただし、館内でのご利用となりますので、ご了承ください。

マイライブラリ

図書館の利用に関する個人ページです。学術情報ポータルサイトで「マイライブラリ」にお進みください。相互貸借申込、借用中の資料の確認、貸出延長（7日間、1回のみ）ができます。

ご利用にはIDとパスワードが必要となりますので、図書館にお問い合わせください。

貸出冊数等

図書…3冊 7日間 雑誌…冊数無制限 3日間
貸出中となっている資料もありますので、あらかじめ蔵書検索(OPAC)や電話等で確認をされてから来館されることをお勧めします。

電子リソース

<https://www.opac.aichi-med-u.ac.jp/drupal/>
(学術情報ポータルサイト：電子リソース)からアクセスしてください。医中誌Web、Web of Science等、機関契約のサービスについては、学内LAN接続端末(図書館や講座等)でご利用ください。

・患者さん等、一般の方も図書館をご利用いただけます。

・ご不明な点は右記お問合せ先までお尋ねください。

■場所 大学本館（1号館）5階・6階（入退館は5階）
 ■開館時間 月曜日～金曜日 8：30～22：00
 土・日曜日・祝日 10：00～18：30
 ※年末年始は休館します。詳細は学術情報ポータルサイトの開館カレンダーをご確認ください。
 ■お問合せ先 TEL：0561-62-3311（代表） FAX：0561-62-3348
 E-mail：library@aichi-med-u.ac.jp
 ■学術情報ポータルサイト <https://www.aichi-med-u.ac.jp/su24/index.html>

運動療育センター



WEBサイト

ヘルスサポート

健康維持・増進、健康回復のための運動療法について医学的な面からサポートをいたします。健康な方への健康運動の指導、運動療法の処方のもとより、個人のライフスタイルに合わせた運動を提供いたします。健康づくりと運動に関する教育・研究についても、定期的に行っております。

紹介のポイント

- ・当施設ではご利用いただく皆様の目的に合わせた3つのコースをご用意しております。
 - ①健康維持・増進を目的とした健康増進コース
 - ②病後治療後の健康回復と機能向上のための運動療法コース（内科系・運動器系）
 - ③各種運動競技選手の体力向上をめざした運動選手コース
- ・当施設はすべて会員制です。ご利用される方が、直接入会の手続きを行って下さい。
- ・安全に、かつ効果的な運動を行っていただくため、メディカルチェックを受けていただきます。（入会時及び年1回）
- ・メディカルチェックには予約が必要となります。フロントへお越しください。
- ・②の運動療法コースをご希望の方は、主治医の紹介状もしくは依頼箋が必要です。入会手続き時に必ず提出してください。

年会費・メディカルチェック等

※入会時と利用開始後1年毎に実施していただく健康診断と体力測定

コース	内容	料金（入金・年会費含）
健康増進コース	健康維持・増進が目的の方。	新規2,800円 2年目以降1,800円～
運動療法コース	内科系 内科系で運動療法が必要な方。	
	運動器系 運動器系で運動療法が必要な方。	
運動選手コース	各種運動競技選手の体力向上をめざされる方。	5,700円

(料金は令和6年4月現在)

施設利用料

11回券	5,700円	有効期限なし	月利用券	4,600円	1か月何回でも利用可
半年利用券	25,500円	半年間何回でも利用可	年利用券	45,300円	1年間何回でも利用可

(料金は令和6年4月現在)

各種教室

- ストレッチ (30分)**
全身のストレッチを行います。毎日の習慣にしていきたいと思います。
- チェアエクササイズ (45分)**
椅子を使用して行う筋力トレーニングおよびストレッチです。
- 朝ヨガ (40分)**
呼吸法、ヨガツボ体操、発声ヨガ、瞑想等により、健康な心と体を目指します。
- ソフトヨガ (45分)**
シンプルなヨガポーズで優しく全身を伸ばしていきます。肉体の調和を保ち、心身の疲労を取り除きます。
- ハタヨガ (基礎) (45分)**
ヨガの基本動作と呼吸法を学びます。全身を心地よく伸ばしながら、バランスのとれた心と体を目指します。
- ハタヨガ (中級) (50分)**
様々なヨガポーズにより身も心も磨いていく教室です。筋力アップにも効果的です。
- ボールエクササイズ (30分)**
ボールを使ったウォーキングや筋力・バランスエクササイズを行います。
- ボディメイクピラティス (45分)**
痩せるだけでなく、バランスの取れた美しい体を作るクラスです。自分の体重による負担を筋肉にかけて全身を引き締めます。
- 股関節教室 (45分)**
主に股関節に痛みを有する方や手術後の方を対象に、体幹や下肢の筋力・柔軟性のアップを目的とした軽負荷の運動を行います。
- 肩活 (45分)**
肩痛や肩こり、巻き肩などの不良姿勢の予防や改善を目的とした運動を行います。
- ロコモ予防教室 (45分)**
移動能力の低下を予防する目的に、特に下肢・体幹の関節機能（筋力、可動域）や身体のバランス能力の維持、改善を図るための運動を行います。
- 腰痛教室 (45分)**
主に腰や背中に痛みがある方を対象として、体幹や下肢の筋力・柔軟性のアップを目的としたエクササイズを行います。

- ステップエクササイズ (30分)**
ステップ台を使用した有酸素運動と筋力トレーニングを組み合わせたクラスです。
- トレスト40 (40分)**
全身持久力・筋力の向上を目的に、体幹トレーニングや、やや強めの全身運動をインターバル形式で行います。
- リズムエアロ (30分)**
リズムに乗って楽しくエアロビクス。シンプルな動きで脂肪燃焼を目指しましょう。

《定員制有料教室》※各教室1回500円

- 痛みらくらく教室 (45分)**
「痛み」に関する正しい知識を身につけ、運動などによる対処法の実践を通じ、痛みを軽減し、カラダづくりを目指します。
- ヘルスアップ教室 (45分)**
健康に関する生活習慣や病気についての知識を深め自宅でも行える運動を行います。
- いきいき健康教室 (60分)**
運動を中心に健康に関する様々なコンテンツを各週で行う教室です。
- ダンベル体操 (60分)**
ダンベルや重りを使って自宅でも筋力が出来るように、正しいフォームでのトレーニングを中心に行っていきます。
- ヒーリングヨガ (60分)**
無理のないゆっくりとしたヨガポーズと瞑想で心と体を整えるとともに、心地よいリラクゼーション状態を目指します。

《歯科診療相談》※30分2,500円
歯科医師が口腔治療について、丁寧に相談に応じます。
※詳細はフロントまでお尋ねください。

スタッフ紹介

医師	2名	看護師	1名	理学療法士	5名
トレーナー	3名	トレーナー補助	3名	事務職員等	5名

- 営業時間 月曜日～金曜日（木曜日除く） 8：30～19：30 土曜日・日曜日 8：30～16：30
- 休館日 木曜日・祝日・年末年始その他施設のメンテナンス等により、休館となる場合があります。
- お問合せ先 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 (0561) 61-1809（直通）
- ホームページ <https://www.aichi-med-u.ac.jp/su22/>

愛知医科大学メディカルセンター



WEBサイト

病院長

羽生田 正行



施設の特徴

当院は、大学病院の分院ならではの専門性の高い医療に加え、診療科の枠を超えて急性期から回復期、慢性期まで幅広い患者さんに対して質の高い医療を提供しています。また、365日二次救急診療体制を整えており、土日祝日を含め24時まで軽症・中等症の救急患者さんに対応しています。

「体調回復入院」、「短期リハ・ペインリハ入院」、「レスパイト入院」の3つの特色を持つ入院形態により、「治し・支える」をキーワードに、地域に寄り添い、地域の皆さまが安心して生活できる医療サービスの提供に務めています。また、愛知医科大学本院とのシームレスな診療連携体制を整備し、より質の高い医療を提供します。

診療科

- ・内科・消化器内科・循環器内科・呼吸器内科
- ・神経内科・腎臓内科・血液内科・糖尿病内科
- ・精神科・外科・消化器外科・脳神経外科・整形外科
- ・皮膚科・泌尿器科・形成外科・リウマチ科
- ・疼痛緩和外科・リハビリテーション科

病床数

270床

〔急性期一般入院基本料 回復期リハビリテーション病棟入院料 療養病棟入院基本料〕

診察日

月曜日から金曜日 午前・午後
土曜日 午前のみ

診療時間

午前 9:00～12:00
午後 14:00～17:00
(外科は15:00～17:00)

2次救急体制

365日 24時まで
平日 18:00～24:00
土曜日 13:00～24:00
祝休日 8:00～24:00

入院施設の特徴

急性期一般

急性期疾患や慢性期疾患の急性増悪などで緊急・重症な状態にある患者さんに対して、入院・手術・検査など高度で専門的な医療を提供しています。

回復期リハビリテーション病棟

脳血管疾患、大腿骨近位部骨折後、心疾患の患者さんに対して、機能の回復や日常生活に必要な機能の改善に向けて集中的なリハビリテーションを受けることができます。医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、社会福祉士、管理栄養士などが共同でそれぞれの自立を目指したリハビリテーションを行っています。また、透析患者さんの受け入れも行っています。

療養病棟（医療療養病棟）

症状は安定しているが引き続き何らかの医療提供が必要であり、病院での療養が必要な患者さんを対象とした病棟です。

その他の特徴

腎臓病センター（20床）

入院だけでなく、月曜日から土曜日までの外来透析にも対応しています。併設のリハビリテーション室による各種リハビリも受けることができます。検査室の設備が充実しており、必要な検査をすぐに実施可能です。

通所リハビリテーション

リハビリテーション治療やトレーニング機器を用いた運動を積極的にを行い身体機能の維持・改善を図ります。また運動を継続することで、今後発症しうる疾病予防にも繋がります。介護保険の認定済みで、ご希望のある方は、担当ケアマネージャーに相談の上、リハビリテーション室までお問い合わせください。

訪問看護ステーション

当院の訪問看護ステーションは、病院や診療所と在宅担当のケアマネージャーなどと積極的に連携をはかり、高齢者や病気・障がいのあるかたの『住み慣れた家で暮らしたい』という希望を支援します。家での生活に不安があるときは、訪問看護ステーションまでお問合せください。

紹介のポイント

当院では、患者さんが安心して適切な医療を受けられることを目標に、全ての外来診療科において予約診療を行っています。地域医療連携室にて事前予約をお取りいただくことで優先的にご案内し、待ち時間が短縮されます。

予約につきましてはFAX、または当院ホームページからインターネット（一部）にて可能です。

また、内科の常勤医師が毎日交代で総合診療科を行っています。当日対応が必要な患者さんがおられましたら、お気軽にご相談ください。

尚、完全予約制の診療科もございますので、ご不明な点がございましたらお気軽にお電話でお問い合わせください。

○地域医療連携室の連絡先

電話 (0564) 64-6519 (直通)
FAX (0564) 45-1789
(受付時間 平日9:00～18:00)



スタッフ（主な担当医）紹介

令和6年7月1日現在

担当医	職名	専門分野
ハニウダ マサユキ 羽生田正行	特命教授 病院長	肺・縦隔の外科
カトウ ヨシロウ 加藤 義郎	教授(特任) 副院長	糖尿病学、内分泌学、 内科学
セキ ケン 関 泰輔	教授(特任) 副院長	股関節疾患(変形性股関節症、 大腿骨頭壊死症など)
ウチダ タツオ 内田 達男	センター 顧問	胸部外科、呼吸器外科、 乳腺外科(内科一般)
カツノ タカユキ 勝野 敬之	教授(特任) 診療部長	腎臓病、腎病理、腎移植、 膠原病
ババ ケンジ 馬場 研二	特命教授	慢性、難治性咳嗽、 気管支喘息COPD、 間質性肺炎、肺癌画像診断
イシバシ ヒロユキ 石橋 宏之	特命教授	血管疾患全て、大動脈ステント グラフト、末梢動脈疾患カテー テルインターベンション
フナキ ヤスシ 舟木 康	教授(特任)	消化器病学(消化管)
イノウエ シンスケ 井上 真輔	准教授	整形外科、脊椎脊髄病
ツカサキ コウジ 塚崎 晃士	センター 講師	整形外科一般、一般外傷
ヨシミネ タカシ 吉峰 崇	助教	消化器病学(消化管)
ヤスマト アキヒロ 安本 明弘	助教	神経内科学

交通のご案内

■幹線道路から

・伊勢湾岸道・豊田東インターを降りて国道248号線を岡崎方面へ3分

■交通機関（名鉄バス）

・名鉄東岡崎駅より、奥殿陣屋行きもしくは足助行き三菱自動車EV技術センター下車

所在地 〒444-2148

愛知県岡崎市仁木町字川越17番地33

電話 (0564) 66-2811

FAX (0564) 66-2800

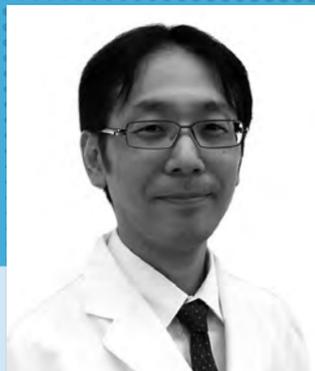


担当医	職名	専門分野
イズミ カズヒロ 泉 和宏	助教	循環器一般
スズキ マユ 鈴木 麻友	助教	循環器一般
インナミ トモヒロ 印南 智弘	助教	整形外科一般、股関節疾患
ヨコ カズユキ 與吾 一幸	助教	整形外科一般、一般外傷
テラジマ ユウキ 寺嶋 祐貴	助教	整形外科学、 脊椎脊髄変性疾患
カトウ ヤスタカ 加藤 康孝	助教	呼吸器疾患一般
ウチノ タイリン 内野 大倫	助教	消化器外科、一般外科
キタムラ フミヤ 北村 文也	助教	腎臓病、リウマチ膠原病
ニシダ ヤスユキ 西田 泰之	医員助教	糖尿病学
オノダ ショウ 小野田 翔	専修医	神経内科学
イシグロ ユキコ 石黒裕季子	専修医	腎臓病、リウマチ膠原病
サクライ ユトコ 櫻井 琴子	専修医	皮膚疾患全般

眼科クリニック MiRAI

Eye Center

クリニック長
三木 篤也



診療科WEB



外来担当医表

特色(設置目的および施設の特色)

愛知医科大学眼科クリニックMiRAI (Eye Center) は、「明るく前向きに生きる」をサポートすることを理念に、「世界をリードする眼科診療」を、地域の幅広い皆様に届けることを目的に設立されました。愛知医科大学病院では網膜硝子体手術、緑内障手術、眼形成手術といった高度な専門的治療や、光干渉断層計などの最先端の検査機器を駆使した高度眼科医療を行ってきました。その一方で、アクセスの面では、都心部より離れた立地や、総合病院という性質上、小回りの利きにくい部分があるのも否めません。眼科クリニックMiRAIでは、大学病院の医師が、大学病院と同等以上の機器を用いて高度医療をおこないつつ、眼科に特化した小回りの利く都心部のクリニックとして、これまで大学病院への通院が難しかった患者さんにも、幅広く高度医療を提供していきます。一方で大学病院とも緊密に連携を取り、全身合併症のため他科も含めた診療が必要な方や、入院治療が必要な方は速やかに大学病院本院に受診していただける体制を整えます。

診療内容

当クリニックは、入院設備のない眼科外来診療および外来手術専門施設ですが、手術機器および検査機器については、本院と同等以上のレベルのものを配置し、大学病院と変わらない専門的な診断、治療を行います。特に、緑内障、網膜、眼形成、日帰り手術、近視進行抑制について日本でも有数の専門性の高い診断、治療を行います。クリニックの常勤医師および本院の教授をはじめとした経験豊富な眼科専門医が外来診療、手術を担当します。

専門診療

○緑内障

最新の画像診断、機能検査を駆使した精密な緑内障診断と、低侵襲手術やSLT、マイクロパルスレーザーなどのレーザー治療を含めた緑内障手術を行います。

担当者：三木篤也、西垣誠士、市川翔

○網膜

黄斑円孔、黄斑上膜、網膜剥離などの外科的手術、および、加齢黄斑変性症、中心性漿液性網脈絡膜症などの内科的治療が適応となる黄斑部疾患の診療を行っています。病状に応じた速やかな手術の施行と緻密な疾患コントロールを行い、症例に応じたきめ細やかな対応を心がけています。

担当者：(サージカル) 瓶井資弘、馬場圭太、坪井孝太郎、平井研登、清澤禄基、藤田京子

○眼形成

眼球付属器(眼周囲の組織)を対象とした診療を行います。眼瞼下垂や内反症などの一般的な疾患から、高度な再建を要する難症例まで幅広い疾患の外科的治療、および炎症性疾患に対するステロイド治療などの内科的治療も行います。

担当者：柿崎裕彦、河野伸二郎

○日帰り手術

白内障のみならず緑内障、網膜硝子体、眼形成等の日帰り手術を行います。

担当者：瓶井資弘、柿崎裕彦、三木篤也、河野伸二郎、馬場圭太、柴田藍

○近視進行抑制

近視は眼鏡、コンタクトレンズ等による矯正を要するだけでなく、強度近視に至ると、網膜剥離、緑内障などの眼疾患リスクが高まります。子どもの近視進行と抑制に関する機序の解明、及び近視進行抑制機能を有するコンタクトレンズの開発、臨床応用を目的とした研究を行います。

担当者：柴田藍、河野伸二郎、佐橋和子

紹介のポイント

当クリニックは名古屋市中心部に位置し、公共交通機関の最寄り駅から近く、名古屋市内および名古屋市以外在住の患者さんにとっても通院しやすい場所でもあります。外来手術で対応可能な患者さんについては、当クリニックで術前検査、手術、術後管理すべて対応させていただきます。入院手術が必要な患者さんについても、入院治療は愛知医科大学病院で行い、術後の外来フォローアップは当クリニックで行うことも可能です。入院要否の判断が難しい患者さんについても、当クリニックの方が通院しやすい患者さんは、まず当クリニックにご紹介をいただければ幸いです。

ご紹介を頂いた患者さんには、専門診療が完了後、再び先生方のもとで診療を受けて頂くことを原則としています。ご希望があれば、術後速やかにご紹介元で経過観察をしていただくことも可能です。

網膜剥離、緑内障発作等の緊急性の高い疾患については、当日専門医が外来診療を担当していない場合でも、本院と緊密に連携し、速やかに当クリニックまたは本院で手術を受けていただく体制を整えています。

是非積極的に当クリニックをご利用頂ければと存じます。

スタッフ紹介

令和6年7月1日現在

担当医	職名	専門分野	認定医・専門医
三木 篤也	近視進行抑制寄附講座教授(特任)クリニック長	緑内障、白内障	日本眼科学会認定専門医、臨床研修指導医、臨床修練指導医
河野伸二郎	眼科助教	眼形成・眼窩・涙道外科眼科	日本眼科学会認定専門医、ボトックス®講習・実技セミナー修了(眼瞼痙攣、片側顔面痙攣)、臨床修練指導医
瓶井 資弘	眼科教授	網膜硝子体疾患	日本眼科学会認定専門医、日本眼科学会認定指導医眼科PDT認定医、身体障害者福祉法指定医臨床修練指導医
柿崎 裕彦	眼形成・眼窩・涙道外科教授(特任)	眼形成・眼窩・涙道疾患	日本眼科学会指導医、日本眼科学会認定専門医、臨床修練指導医
藤田 京子	眼科講師	黄斑疾患、網膜変性疾患	日本眼科学会認定専門医、眼科PDT認定医
馬場 圭太	眼科助教	網膜硝子体、白内障	日本眼科学会認定専門医
坪井孝太郎	眼科助教	網膜硝子体手術、眼循環疾患	日本眼科学会認定専門医、International Ocular Circulation Society Founding Member、The American Society of Retinal Specialists Member
平井 研登	眼科助教	白内障、網膜硝子体	日本眼科学会認定専門医
柴田 藍	近視進行抑制寄附講座助教	ぶどう膜	日本眼科学会認定専門医
清澤 禄基	眼科医員助教	眼科一般、網膜硝子体	日本眼科学会認定専門医
西垣 誠士	眼科医員助教	緑内障、サージカル網膜	
佐橋 和子	眼科クリニックMiRAI眼科非常勤医師	サージカル網膜	日本眼科学会認定専門医
市川 翔	眼科クリニックMiRAI眼科非常勤医師	斜視・弱視、緑内障	日本眼科学会認定専門医

登録医制度

地域医療連携システム登録医制度



WEBサイト

愛知医科大学病院地域医療連携システム登録医制度は、病院と地域医療機関との機能分化をふまえて、相互の密接な協力により一貫した良質な医療を提供し、医療機関との間の信頼関係を確立するとともに、それぞれの機能の向上を図り、良質な地域医療の充実、発展を図ることを目的としています。

1 登録医の登録

愛知医科大学病院の登録医を希望される医療機関の方は、「地域医療連携室」にご連絡ください。所定の用紙をお送りいたします。

2 登録期間について

登録期間は1年間とします。ただし、登録期間満了時に脱退の申し出のない場合は、引き続き1年間更新されるものとします。

3 登録費用について

登録についての費用は一切かかりません。

4 登録医の特典

- (1) 院内情報の提供
院内のシステム等が変わった時は、いち早く案内させていただきます。
外来担当医表等を送付いたします。
- (2) 登録医証及び医師の名札の交付
- (3) 総合学術情報センター（図書館部門）資料の利用
- (4) 来院時の無料駐車券の発行
- (5) 研修会・講演会・症例検討会等への参加
- (6) 登録医専用ページの閲覧（専用ID・パスワード）
- (7) 地域医療連携ネットワークシステム（AMUネット）の利用
当院のカルテを閲覧するシステムです。
手続き、詳細につきましてはホームページをご確認ください。

5 研修会等への参加

研修会・講演会・症例検討会等の開催については、「地域医療連携室」からご案内いたします。

6 総合学術情報センター（図書館部門）の利用

- (1) 図書館を利用するときは、登録医カードをお持ちください。資料の閲覧、複写、貸出等ができます。
- (2) 利用について詳しくは、P.139をご覧ください。

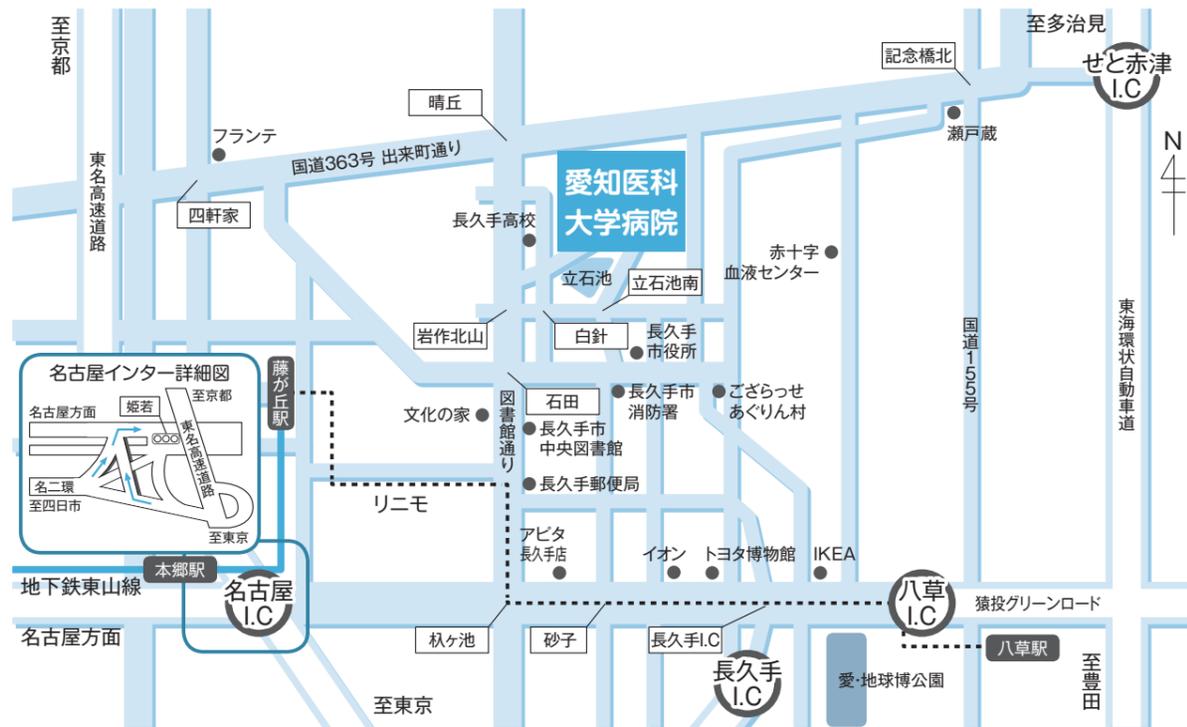
■ 受付のご案内

診療受付時間 午前8時30分～午前11時00分
休 診 日 土曜日・日曜日・祝日・年末年始（12月29日～1月3日）

■ 交通のご案内

■ 幹線道路から

1. 東名高速自動車道・名古屋インターから車で、約15分
2. 東海環状自動車道・せと赤津インターから車で、約30分



路線図案内

■ 名古屋駅からお越しの方

- ・ 名鉄バスセンター・基幹バス⇒①
- ・ 地下鉄・東山線/藤が丘駅を經由 ⇒ 名鉄バス②③⑤

■ 瀬戸方面からお越しの方

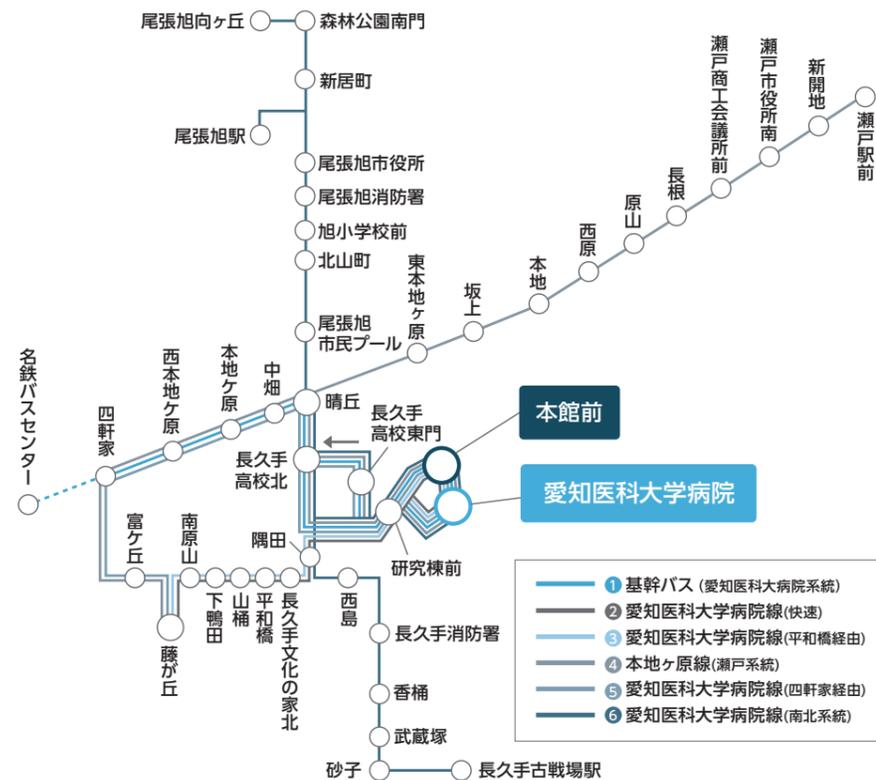
- ・ 本地ヶ原線(瀬戸系統) ⇒④

■ 長久手・尾張旭方面からお越しの方

- ・ 南北系統 ⇒⑥

■ 名鉄バス路線

- ① 基幹バス(愛知医科大学病院系統)
[所要時間 約1時間]
- ② 愛知医科大学病院線(快速)
[所要時間 約15分]
- ③ 愛知医科大学病院線(平和橋経由)
[所要時間 約20分]
- ④ 本地ヶ原線(瀬戸系統)
[所要時間 約30分]
- ⑤ 愛知医科大学病院線(四軒家経由)
[所要時間 約20分]
- ⑥ 愛知医科大学病院線(南北系統)
[長久手古戦場より所要時間 約18分]
[尾張旭駅より所要時間 約16分]



発行

愛知医科大学病院
医療連携センター(地域医療連携室)

令和6年8月

〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1
電話 (0561) 62-3311(代表) 内線 34621
(0561) 65-0221(直通)
FAX (0561) 65-0225
E-mail renkei@aichi-med-u.ac.jp

<https://www.aichi-med-u.ac.jp/hospital/> | 愛知医科大学病院ホームページ